

## 税金に感謝

### 伊藤日葵（千葉・旭市立第二中学校）

「俺は、高額納税者になる。」「え、どうやって。」「農業を儲かるビジネスにする。」弟が目を輝かせて夢を語れるようになったのは、税金のおかげです。

私には双子の弟がいます。弟の蓮也は、国の難病に指定されている「成長ホルモン分泌不全性低身長」と言う病気です。この病気は甲状腺ホルモンや、成長ホルモンの分泌が不足する事で身長伸びが悪くなります。

なぜその病気がわかったかという、保育園の年長の頃から兄弟で身長差が目立ち始め、一年に二回の健康診断でも一センチも伸びておらず、他の子供よりも身長が低い事はいじめを受けるようになりました。年少の頃は人を笑わせる事が好きで、我が家のムードメーカーだった蓮也が、小学校に入ると表情が暗く無口になり、泣いて帰ってくることもあって心配になった母が、かかりつけ医に相談し、検査を受け、病気である事がわかりました。

この病気の治療に有効な成長ホルモン注射は非常に高価な薬で、一本十万円、年間百万から七百万円かかります。母子家庭の我が家には、とても払える金額ではありません。先生は、「高額療養費制度」を進めてくださいました。医療費の負担が重くなりすぎないように年収に応じて支払いの上限額を設定している制度です。又、旭市には子供医療費助成制度があり、これらの制度を利用することで、ホルモン注射一ヶ月、三十万円は無料で受けられ、母はとても感謝しています。

私は中学三年で税について勉強し、社会保障費が国の一般歳出の約三分の一を占める最大の支出項目だと知りました。私達の健康や生活を守るために欠かせない公的サービスですが、少子高齢化や新型コロナウイルスの支援金や助成金が増え、財源の確保ができず消費税の増収分が全て充てられています。増え続ける社会保障に私達が働いて納税できる時がきたら、皆で高齢者を、国を支えていく大人にならなければと強く思いました。

蓮也は八年間、希望と期待を持ち毎日ホルモン注射を打ち続け、その結果、中学二年生になった今、標準身長に達する事が出来ました。今は、別人のように性格も明るくなり、友達も沢山できて勉強や、部活動を頑張っています。特に、家業の農業に関心を持ち、農繁期には積極的に手伝い、祖父からコンバインの運転を教えてもらっています。

蓮也は、将来農家を継ぎ、儲かる農業を目指し沢山収入を得て、沢山税金を納め、自分のような病気をもった子供達や障害をもった人達、困っている人達の役に立つ高額納税者になりたいそうです。

このように人の役に立ちたいと言う蓮也を私は頼もしく思います。皆が豊かに安心して暮らしていくために必要な税金は、人の心まで成長させてくれました。私達家族は、税金に心から感謝しています。